

第1回あきる野市環境基本計画市民検討委員会

- 日 時 令和6年8月29日（木）14:15～16:30
- 場 所 中央公民館 2階 第7研修室
- 出席者 奥委員長、森副委員長、青山委員、鈴木委員、石川委員、柏倉委員、
才勝委員、小山委員、平野委員、田中委員、橋本委員、安永委員、
柴原委員、石塚委員
- 事務局 環境政策課 山本課長、岸係長、黒澤主任
受託事業者 （株）オリエンタルコンサルタンツ（3人）
- 資 料 あきる野市環境基本計画市民検討委員会 次第
あきる野市環境基本計画市民検討委員会 委員名簿
資料1 第三次あきる野市環境基本計画の策定について
資料2 あきる野市環境基本条例
資料3 あきる野市環境基本計画市民検討委員会設置要綱
資料4 あきる野市環境基本計画策定検討体制
資料5 市民・事業者アンケートの実施について（案）
資料5-2 アンケート調査票（市民版）
資料5-3 アンケート調査票（事業者版）
口座振替依頼書及び返信用封筒
- 参考資料 第二次あきる野市環境基本計画
第二次あきる野市環境基本計画改訂版
あきる野市地球温暖化対策地域推進計画
あきる野市環境白書
生物多様性あきる野戦略
あきる野市一般廃棄物処理基本計画

1 開会

ただ今から第1回の「あきる野市環境基本計画市民検討委員会」を開催する。

委員の皆様には、日頃、大変お忙しい中、市民検討委員を快く引き受けていただきありがとうございます。この場を借りてお礼を申し上げます。

2 委嘱書及び任命書交付

(中嶋市長から各委員へ委嘱書及び任命書を配布)

3 市長挨拶

あきる野市長の中嶋博幸です。

環境基本計画市民検討委員会の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

ただ今、委員をお引き受けいただいた15人の皆さんには、今年度から約2か年にわたり、環境基本計画策定に当たっての検討をお願いすることになる。どうか、よろしくお願いします。

環境基本計画は、持続的発展が可能な社会の実現に向けて、環境の保全等に関する、目標や方向性を示すもので、あきる野市の環境施策の根幹をなすものであり、大変重要な計画である。

現在、本市においては、望ましい環境像である「歩きたくなるまち 住みたくなるまち あきる野」の実現に向け、自然環境分野、生活環境分野、エネルギー環境分野、人の活動分野の各分野別で環境に関する取組を行っているところである。

また、令和4年3月には、第2次あきる野市総合計画を策定し、4つの基本理念のもと、「豊かな自然と人々の絆に包まれ 人やまち、文化を育む 安全・安心なまち あきる野」を将来都市像に置きながら、まちづくりを進めているところである。

この度の環境基本計画についても、総合計画などの各種計画との整合性を図りながら策定を進めていくわけであるが、あきる野市の一番の特長とも言える豊かな自然環境を将来の世代に引き継ぐとともに、2050年ゼロカーボンシティに向けた取組も進めていかなければならない。また、市民の皆様が健康で安全かつ快適な生活を送るための環境を確保していくよう、将来を見据えた環境基本計画の策定に当たり、委員の皆さまにおいては、様々な検討をお願いする。

4 自己紹介

(席順に各委員から自己紹介)

5 議題等

(1) 役員の選出について

●事務局

正副委員長の立候補または推薦はあるか。事務局案として、委員長に奥委員、副委員長に森委員を推薦する。

●会場

異議なし

●事務局

議題(2)より、奥委員長に進行をお願いする。

(2) あきる野市環境基本計画の改定について(資料1～資料4)

●委員長

議題(2)について、事務局より説明をお願いする。

●事務局

(事務局から資料1～4に沿って説明した。)

●委員長

事務局からの説明に対して、質問はあるか。

●委員

あきる野市の現状の温室効果ガスの排出状況と削減目標を教えてください。

●事務局

現行計画である第二次環境基本計画改訂版の42ページに削減目標を記載しており、2013年度を基準年度とし、2030年度までに46.8%削減を目標としている。削減目標に対して取組内容を定めているが、多くは数値目標ではなく文章での記述に留まっているため、削減に向けた具体的な取組を第三次計画で定めていく必要があると考えている。

オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の公表値により把握できる最新年度の令和3年度において、あきる野市の排出量は27万2千t-CO₂であった。令和4年度以降の排出量は、今後公表される。

2013年度比でどれくらい削減できているかは手元に数値がないため、次回委員会時に提示する。

●委員長

現行計画の計画期間は令和7年度までであり、第三次計画の計画期間は2026年度から2035年度までの10年間である。これまでは、2030年度までの削減目標を設定していたが、第三次計画では2035年度の削減目標を検討し、新たに設定する必要がある。

●委員

資料1の4ページに、施策の柱として「基礎情報の調査・収集」とあるが、基礎情報の調査・収集を第三次計画の策定にあたって実施し、その結果を計画へ反映するのではないか。

●事務局

基礎情報の調査・収集は、森林レンジャーや自然環境調査部会によって、これまで継続して実施してきた。これらの調査結果を、計画策定にあたって評価・分析し、第2章に記載予定である。資料1の4ページの施策の柱は、現行計画の27ページに記載の施策体系を受け継いで記載しており、環境状況をモニタリングすることを目的としている。

●委員

あきる野市の生物多様性がどのように変化してきたか等の調査結果はどこで確認できるか。

●事務局

平成23年度までは調査結果報告書を公表していたが、現在、自然環境部会の調査結果は公開していない。森林レンジャーの取組は、毎年ではないがレンジャー報告書として公表している。

●委員

生物多様性の変化に関する調査結果を踏まえて、自然環境の保全や生物多様性を取り戻していくネイチャーポジティブの取組を実施していくことが重要である。そのため、調査結果を公表した方が良いのではないか。

●副委員長

市民に公表はされていないが、自然環境調査部会は毎年度の調査結果を環境政策課へ提出している。この調査結果を踏まえて、あきる野市版レッドリストを作成しており、ホームページで公表されている。なお、昆虫版のレッドリストは現在作成を進めている。市内に生息する生物種は膨大であり、生息有無を定点で毎年度観測するような調査を実施することは難しい。

●事務局

これまでの調査結果を、今年度分析し、計画に反映していく予定である。

●委員

気候変動適応計画は、既存のものがあるのか、新たに作成するのか。また、気候変動適応計画についても、温暖化対策を専門とする委員で別途議論を行うのか。

●事務局

既存の計画はない。ただし、環境省より取り組むべき施策が提示されているため、あきる野市に該当するものを抽出し、施策として位置づけることを想定している。

地球温暖化を専門とする委員の方々には、気候変動適応計画についても地球温暖化対策実行計画と併せて、本委員会とは別途議論いただく予定である。

●委員

資料1の3ページに記載の「(5) 気候変動適応に関する調査等」では、どのような調査を行うのか。また、4ページの「第3章 あきる野市が目指す姿」について、温室効果ガス削減目標以外についても、定量的に定める予定があるか教えていただきたい。

●事務局

「(5) 気候変動適応に関する調査等」の実施内容について、あきる野市で生じている気候変動による影響を、既存文献による調査及び関係課への照会により整理し、対策の重要度、緊急度を評価する。その上で、あきる野市が策定している各種計画の施策に基づき適応策を検討する。

定量的な目標設定については、第5章の指標の設定として位置付けている。ただし、第4章の施策と併せて掲載するか、第5章に掲載するかは、今後検討していく。

●委員

東京都で定めている指標なども参考にしていきたい。

●委員

資料1の4ページ第3章の望ましい環境像について、現在の「歩きたくなるまち 住みたくなるまち あきる野」という標語を変えるのか。

また、地域ごとの望ましい姿について、どのような地域区分であるか。

●事務局

現在の標語は、第一次計画策定時に設定したもので、第二次計画策定時は新たに設定するか踏襲するかを検討した結果、第一次計画のものを踏襲した。第三次計画でど

のようにするかは今後検討していくため、委員の皆さまからのご意見いただきたい。

また、地域ごとの望ましい姿については、現行の生物多様性地域戦略の62ページに記載の8つの地域区分の望ましい姿を踏まえて検討する予定である。

●委員長

議題（２）について事務局から説明があった、構成案、検討体制、検討スケジュールについて、ご了解いただいたということで問題ないか。

●会場

異議なし

（３）市内・事業者アンケートの実施について（資料５）

●委員長

議題（３）について、事務局より説明をお願いします。

●事務局

（事務局より資料5について説明）

●委員長

事務局からの説明に対して、質問はあるか。

●委員

これまでの計画策定時に行ったアンケートの回答率はどの程度であったか。

●事務局

市民アンケートは約35%、事業者アンケートは約30~40%であった。

●委員

アンケート調査はとても重要であると思う。回答率を高めるために、回答者へのカードポイントの付与などがあったら良いのではないか。

事業者アンケートでは、なぜ太陽光を設置しないかという設問があるが、市民アンケートについても住宅への太陽光発電設置における障害を問う設問を追加した方が良いのではないか。

過去のアンケート結果から把握した市民が感じている課題に対して、市の取組として実施したものはあるか。

●事務局

アンケート結果に対する取組の実施状況までは追いきれていない。

●委員

直近でアンケートを実施したのはいつであるか。

●事務局

第二次計画改訂時の令和3年度である。アンケート結果は、計画書に記載している。

●委員

市民アンケート問11のライフスタイルに関する設問について、どういう志向の人があきる野市にいるのかを把握することは、市のブランディングにも繋がり、とても良いと感じた。

●委員長

平成29年度の東京都全域を対象とした調査結果と比較することで、あきる野市の特徴が見えてくるかもしれない。

●委員

市民アンケート問3の行動15について、あきる野市では公共交通機関が十分ではないが、本市に適した設問であるのか。

●事務局

環境保全の視点からあきる野市の公共交通をより利用しやすいものにしていくために、必要な設問であると考えている。また、あきる野市の中でも、地域によって公共交通の整備状況は異なるため、問3行動15の回答と居住地域について、クロス集計を行いたいと考えている。

●副委員長

程度の問題であるとする。1年半前に免許を返納したが、本会場へは秋川駅までバスを利用し、そこからは大雨のためタクシーを利用して来た。完全に車の使用を抑えることは難しいが、極力公共交通を利用することはできる。

●事務局

これまで市は、温暖化対策として公共交通の利用を呼び掛けており、市民がどのように考えているかを確認するためにも、本設問を設定している。

●委員長

問3行動15を削除する必要はないと考えるが、意見を踏まえて、問9や問10の選択肢の一つに追加するのが良いと考える。事務局にて検討いただきたい。また、他地域と共通の設問があっても良いが、あきる野市らしさを加えていけたら良いと考える。委員の

みなさんにもあきる野らしい設問のアイデアがあればお聞きしたい。

●委員

事業者アンケートの回答率向上のために、商工会で調整を図りたい。商工会の幹部会議において協力依頼していきたい。

●委員

Web 回答について、間違えて回答した場合に、戻って修正できるようなシステムにすることが望ましい。

市民アンケートについて、あきる野市の在住年数についても質問し、分析することで何かしらの傾向が見えてくるのではないかな。

また、市民アンケートの問3について、日々の行動と一生に一度あるかないかの行動が混在しており、選択肢を工夫した方が良さそう。ご意見に対して、行動15を利便性のよい公共交通があったら、自動車よりも公共交通を利用しますかという、意識を聞くような設問にしても良いのではないかな。

家庭部門での排出削減に向けて、省エネ・新エネ設備の導入が重要であると思うが、問5-1の回答結果をどのように計画へ反映することを想定しているか。設備の導入促進に向けた施策に反映しにくいように感じる。

●委員長

問3は行動の実施状況を問うているため、意識を問う設問とは性質が異なる。

●事務局

設問の聞き方について検討するが、委員長の仰るとおり設問の性質が異なる。公共交通に関する意向を把握できるような設問となるよう、検討する。

●委員長

日常的な取組と設備や住宅に関する取組を分ける又は順番を入れ替えるなど、整理していただきたい。

●事務局

問5-1では、選択肢で導入状況や意向を段階的に聞いている。導入意向を踏まえて、削減ポテンシャル推計等へ活用したい。また、問5-2や問5-3の結果を事業者に展開することで、環境対策も進むと同時に、事業者の事業展開の差別化に繋がると感じた。

全体を通して、施策への反映が難しい抽象的な設問がないか見直しを行う。

●委員

市民アンケート問3の選択肢「3.取り組んでいないが関心はある」と、問6の選択肢は重複しているのではないかと。また、問4について、妨げに感じている理由は、行動内容によって変わるのではないかと。

●事務局

問3の全ての行動に対して、妨げに感じている理由を聞くことが望ましいが、回答者の負担を考え、現状のように問4でまとめて問う形式とした。

●委員長

問6は参加したくない場合に、理由を聞いているという点でプラスされている。問3と問6でやや重複感があるが、両方あって良いようにも感じる。

事務局より、調査票の確認期限を提示いただきたい。

●事務局

9月8日（日）までに、調査票に関してご意見があれば事務局までメールでお送りいただきたい。

6 その他

●事務局

事務局より、第2回の開催候補日及び議事要旨をメールでお送りするので、回答・確認いただきたい。また、委員会当日に印刷資料が不要な場合は、事前にご連絡いただきたい。

7 閉会（副委員長）